



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第630号

2024年4月1日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

高齢者外出支援のタクシー券が拡充

八千代市の新年度予算に、高齢者外出支援タクシー券取得の条件緩和が盛り込まれ、対象者はこれまでより5,000人増えることとなります。

これまでタクシー券の取得には、75歳以上であること、バス停や駅などから500メートル以上離れていることとされていましたが、日本共産党は「高齢者の外出支援というのであれば、この条件を撤廃すべき」と訴えていました。

そしてこの度、みなさんの願いが実現し、住民税非課税世帯である介護認定者（要支援1、2と要介護1、2、3、4、5）であれば、500円のタクシー券が24枚交付されることになりました。

さらに、タクシー料金が1,000円を超えた場合には、2枚まで使用できるようになり、利用者からも歓迎されています。

一方で対象外になってしまった方も

しかし同時に、要介護3、4、5の方が高齢者外出支援タクシー券へ移行されるなど、393人の高齢者が対象者から外されることも明らかになりました。

対象から外された方には2つのパターンがあります

1. 障がい者等外出支援タクシー券から外された方

これまで障がい者等タクシー券の枠組みに入っていた要介護3、4、5の方々、4月より高齢者等外出支援タクシー券の枠組みに変更されることで、住民税の課税世帯の場合、タクシー券を取得できなくなってしまいます。

2. 高齢者外出支援タクシー券から外された方

75歳以上の方で、駅やバス停から500メートル以上離れていることで、タクシー券を取得していた方も、住民税の課税世帯の場合、4月より対象から外されてしまいます。

突然の打ち切りではなく、せめて1年間の猶予を

市は対象者の拡大で、障がい者、高齢者支援の両方のタクシー券事業に関する予算を2023年度が約800万円だったものを約1800万円増の約2600万円に引き上げました。

しかし、突然の対象外となってしまった方々には全く通知されていないため、日本共産党市議団は「せめて1年間の猶予となるように2024年度はタクシー券を配布すべき」と要求しました。

予算委員会の質疑では、担当部署から「随時見直していきたい」との答弁を引き出すことができました。

日本共産党は今後も、市民のみなさんが安心して暮らせる八千代市となるように、コミュニティバスやデマンドタクシーなどの創設で公共交通の整備に力を尽くしていきます。